

Ⅲ 調査結果

1. まちづくりの現状評価

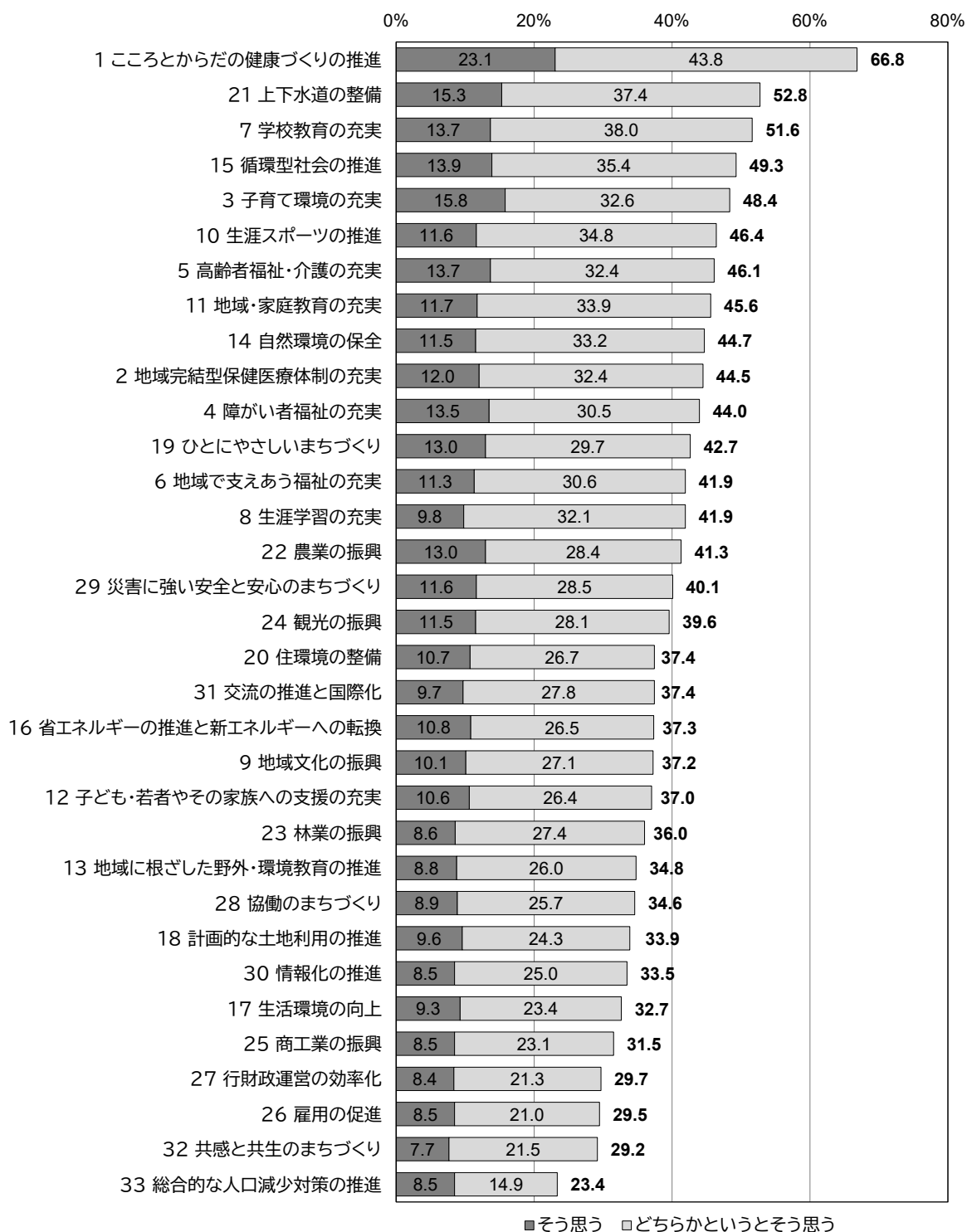
問1 南魚沼市では「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとに以下のようなまちづくりを進めています。あなたは、次の1～33の項目について、十分に取組が進められていると思いますか。（1つずつ選択）

●「**こころとからだの健康づくりの推進**」の評価が最も高く、「**総合的な人口減少対策の推進**」の評価が最も低い

「そう思う」は「1 こころとからだの健康づくりの推進」（23.1％）が2割以上で最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」（15.8％）など複数の項目が1割以上となっています。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』は、「1 こころとからだの健康づくりの推進」（66.9％）が約7割で最も高く、次いで「21 上下水道の整備」（52.8％）、「7 学校教育の充実」（51.6％）の2項目が5割以上となっています。

一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」（23.4％）が2割程度で最も低くなっています。

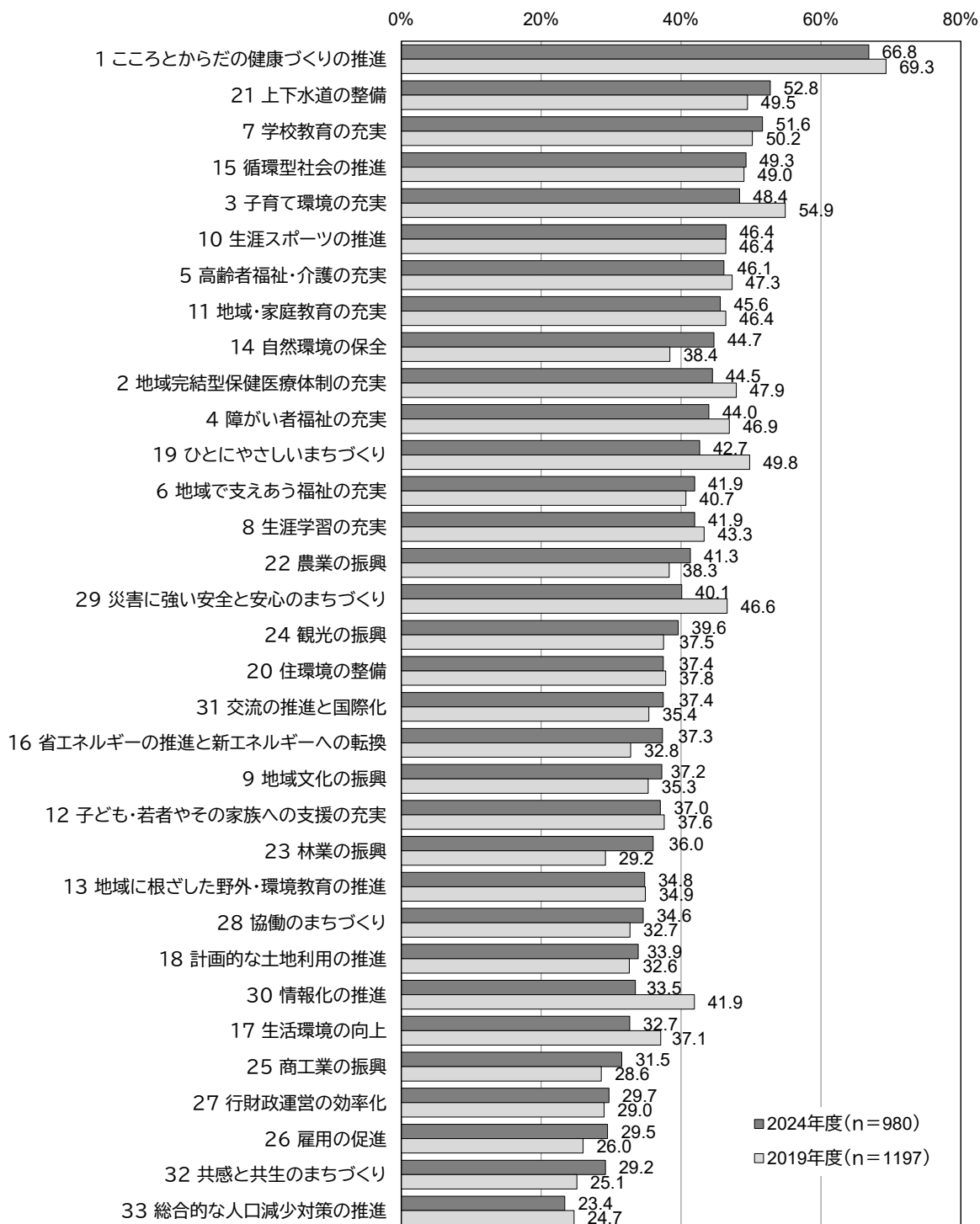


まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（1つずつ選択）

※全体値が高い順に表示。太字は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●現状評価は 33 項目中 17 項目が前回から向上、15 項目が低下

合計値『思う』について、項目設定が同様の前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「23 林業の振興」（本調査 36.0%、前回 29.2%、6.8 ポイント増）など 17 項目が前回より高くなる一方、「30 情報化の推進」（本調査 33.5%、前回 41.9%、8.4 ポイント減）など 15 項目が前回より低くなっています。また、「10 生涯スポーツの推進」（46.4%）は前回と同値となっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（経年比較）

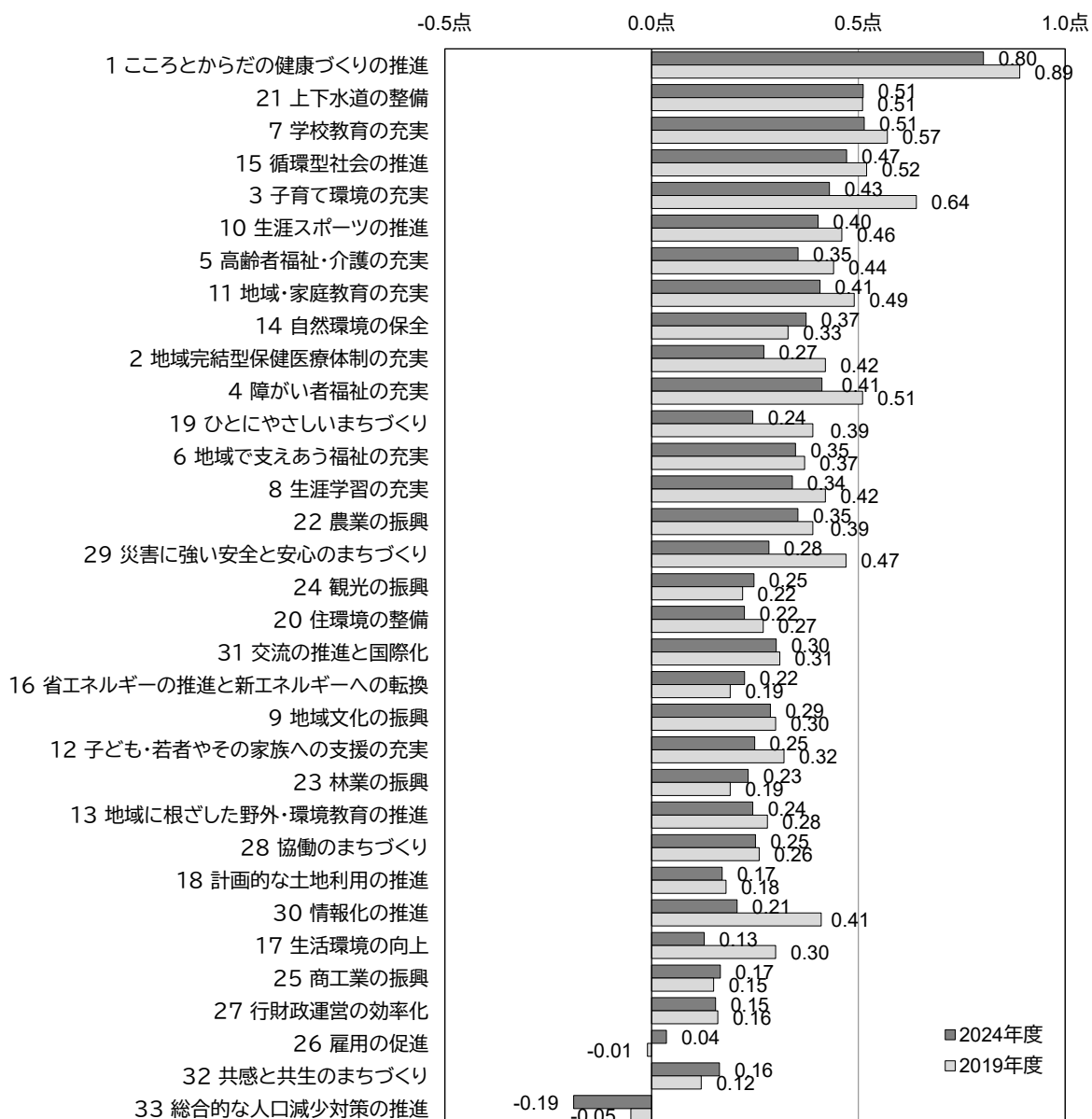
※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●加重平均値では「総合的な人口減少対策の推進」のみマイナス値

●33 項目中 7 項目が前回から向上、25 項目が低下

各項目の加重平均値*を見ると、「1 ところとからだの健康づくりの推進」(0.80 点)が特に高く、次いで「21 上下水道の整備」「7 学校教育の充実」(0.51 点で同値)などが高くなっています。一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.19 点)が最も低く、33 項目中で唯一マイナス点となっています。

前回調査と比較すると、「26 雇用の促進」(本調査 0.04 点、前回-0.01 点、0.05 ポイント増)など 7 項目が前回より若干高くなる一方、「3 子育て環境の充実」(本調査 0.43 点、前回 0.64 点、0.21 点減)など 25 項目が前回より低くなっています。また、「21 上下水道の整備」は前回と同値となっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (加重平均値・経年比較)

*加重平均値:「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思う」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

※全体値(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

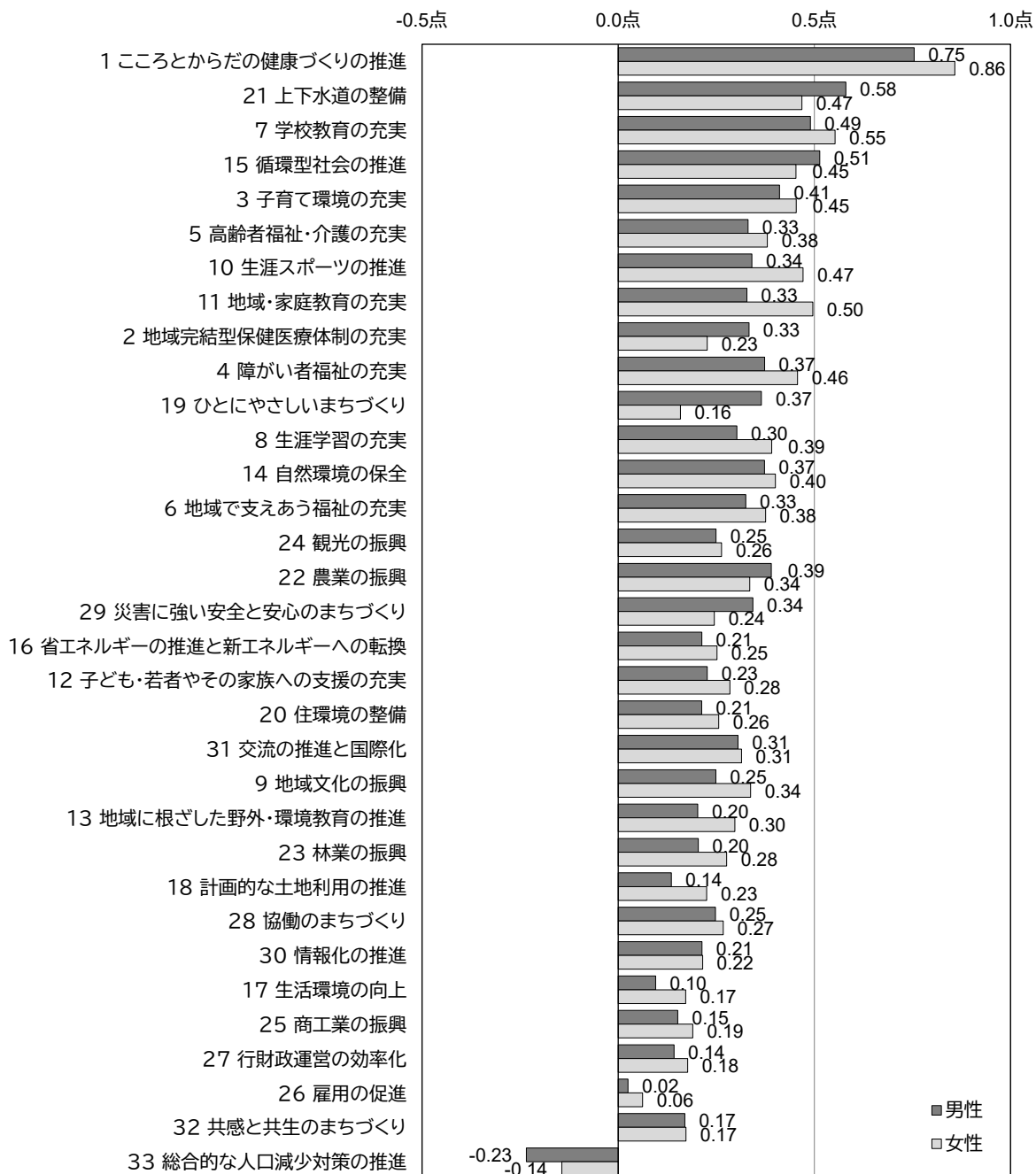
●加重平均値は男女とも「こころとからだの健康づくりの推進」が最も高い

●男女差は「人にやさしいまちづくり」で最も大きく、男性が女性より高い

加重平均値を性別で見ると、男女とも「1 こころとからだの健康づくりの推進」(男性 0.75 点、女性 0.86 点)が最も高く、次いで男性は「21 上下水道の整備」(0.58 点)、女性は「7 学校教育の充実」(0.55 点)が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男女とも「33 総合的な人口減少対策の推進」(男性-0.23 点、女性 -0.14 点)となっています。

男女差は「19 ひとにやさしいまちづくり」で最も大きく、男性 (0.37 点)が女性 (0.16 点)より 0.21 点高くなっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (性別 加重平均値)

※全体値 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●加重平均値は10・20歳代では「上下水道の整備」、他の年代は「こころとからだの健康づくりの推進」が最も高い

●年代差は「林業の振興」「災害に強い安全と安心のまちづくり」で大きく、いずれも10・20歳代が最も高い

加重平均値を年代別で見ると、10・20歳代を除き「1 こころとからだの健康づくりの推進」、10・20歳代は「21 上下水道の整備」(0.91点)がそれぞれ最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての年代で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっており、10・20歳代(0.14点)、70歳以上(0.12点)を除きマイナス値となっています。

年代差は「23 林業の振興」「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」で大きく、いずれも10・20歳代(それぞれ0.83点、0.75点)が最も高く、「23 林業の振興」は60歳代(0.06点)、「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」は40歳代(-0.01点)が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか(年代別 加重平均値)

加重平均値(点)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.83	0.70	0.51	0.86	0.85	1.02
21 上下水道の整備	0.91	0.38	0.25	0.50	0.48	0.73
7 学校教育の充実	0.73	0.48	0.28	0.56	0.46	0.71
15 循環型社会の推進	0.78	0.48	0.33	0.43	0.36	0.63
3 子育て環境の充実	0.64	0.13	0.18	0.54	0.50	0.62
5 高齢者福祉・介護の充実	0.67	0.33	0.13	0.33	0.30	0.54
10 生涯スポーツの推進	0.63	0.45	0.22	0.38	0.30	0.59
11 地域・家庭教育の充実	0.56	0.28	0.31	0.47	0.34	0.54
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.61	0.05	-0.01	0.23	0.35	0.48
4 障がい者福祉の充実	0.72	0.26	0.31	0.40	0.36	0.55
19 ひとにやさしいまちづくり	0.72	0.22	-0.02	0.19	0.24	0.39
8 生涯学習の充実	0.53	0.33	0.12	0.37	0.31	0.51
14 自然環境の保全	0.69	0.40	0.40	0.40	0.24	0.38
6 地域で支えあう福祉の充実	0.59	0.31	0.21	0.32	0.21	0.57
24 観光の振興	0.50	0.28	0.07	0.15	0.23	0.38
22 農業の振興	0.84	0.47	0.18	0.31	0.15	0.54
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.75	0.28	-0.01	0.28	0.18	0.51
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.69	0.26	0.04	0.16	0.15	0.35
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.55	0.11	0.09	0.30	0.14	0.46
20 住環境の整備	0.48	0.18	0.02	0.19	0.17	0.42
31 交流の推進と国際化	0.69	0.28	0.13	0.28	0.24	0.42
9 地域文化の振興	0.70	0.38	0.18	0.24	0.16	0.38
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.56	0.17	0.09	0.25	0.15	0.42
23 林業の振興	0.83	0.39	0.13	0.21	0.06	0.26
18 計画的な土地利用の推進	0.50	0.18	-0.09	0.22	0.15	0.30
28 協働のまちづくり	0.64	0.19	0.03	0.20	0.22	0.42
30 情報化の推進	0.53	0.07	-0.06	0.25	0.20	0.40
17 生活環境の向上	0.47	0.23	0.00	0.14	-0.02	0.23
25 商工業の振興	0.52	0.21	-0.01	0.06	0.12	0.29
27 行財政運営の効率化	0.47	0.12	-0.12	0.05	0.14	0.40
26 雇用の促進	0.47	-0.08	-0.22	-0.10	0.04	0.27
32 共感と共生のまちづくり	0.61	0.07	-0.03	0.14	0.07	0.37
33 総合的な人口減少対策の推進	0.14	-0.32	-0.57	-0.37	-0.09	0.12

※全体値(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値はすべての居住地域で「こころとからだの健康づくり」が最も高い

●地域差は「循環型社会の推進」で最も大きく、塩沢地域が高い

加重平均値を居住地域別で見ると、すべての地域で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。

地域差は「15 循環型社会の推進」で最も大きく、最も高い塩沢地域（0.57 点）と最も低い大和地域（0.33 点）では 0.24 点の差が見られます。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（居住地域別 加重平均値）

加重平均値(点)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.77	0.83	0.80
21 上下水道の整備	0.52	0.50	0.54
7 学校教育の充実	0.49	0.51	0.55
15 循環型社会の推進	0.33	0.48	0.57
3 子育て環境の充実	0.32	0.44	0.50
5 高齢者福祉・介護の充実	0.28	0.38	0.38
10 生涯スポーツの推進	0.29	0.42	0.47
11 地域・家庭教育の充実	0.39	0.46	0.35
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.18	0.30	0.31
4 障がい者福祉の充実	0.35	0.46	0.40
19 ひとにやさしいまちづくり	0.19	0.25	0.29
8 生涯学習の充実	0.33	0.36	0.34
14 自然環境の保全	0.31	0.37	0.44
6 地域で支えあう福祉の充実	0.31	0.36	0.38
24 観光の振興	0.30	0.16	0.34
22 農業の振興	0.34	0.37	0.35
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.26	0.30	0.29
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.16	0.23	0.28
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.19	0.28	0.27
20 住環境の整備	0.21	0.21	0.26
31 交流の推進と国際化	0.40	0.27	0.29
9 地域文化の振興	0.19	0.29	0.36
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.29	0.24	0.23
23 林業の振興	0.19	0.27	0.22
18 計画的な土地利用の推進	0.13	0.17	0.20
28 協働のまちづくり	0.29	0.24	0.25
30 情報化の推進	0.19	0.20	0.24
17 生活環境の向上	0.11	0.12	0.17
25 商工業の振興	0.19	0.12	0.23
27 行財政運営の効率化	0.09	0.16	0.20
26 雇用の促進	-0.01	0.08	0.02
32 共感と共生のまちづくり	0.17	0.17	0.16
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.18	-0.21	-0.15

※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値はいずれの職業も「こころとからだの健康づくり」が最も高い

●職業差は「住環境の整備」「雇用の促進」「総合的な人口減少対策の推進」で大きく、いずれも農林自営が高い

加重平均値を職業別で見ると、いずれの職業も「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、いずれの職業も「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。また、農林自営、家事専業、無職はすべての項目がプラス値となっています。

職業差は「20 住環境の整備」「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」で大きく、いずれも農林自営が最も高く、「20 住環境の整備」「26 雇用の促進」は常勤（それぞれ0.11点、-0.10点）、「33 総合的な人口減少対策の推進」は商工自営（-0.37点）が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（職業別 加重平均値）

加重平均値(点)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.66	0.96	1.13	0.67	0.86	0.91
21 上下水道の整備	0.43	0.46	0.85	0.52	0.60	0.61
7 学校教育の充実	0.39	0.53	0.78	0.51	0.69	0.61
15 循環型社会の推進	0.40	0.52	0.64	0.40	0.54	0.49
3 子育て環境の充実	0.29	0.51	0.79	0.45	0.48	0.56
5 高齢者福祉・介護の充実	0.25	0.46	0.55	0.32	0.31	0.45
10 生涯スポーツの推進	0.33	0.38	0.62	0.37	0.58	0.47
11 地域・家庭教育の充実	0.33	0.43	0.51	0.38	0.53	0.46
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.17	0.34	0.68	0.23	0.22	0.34
4 障がい者福祉の充実	0.34	0.49	0.65	0.44	0.34	0.44
19 ひとにやさしいまちづくり	0.17	0.24	0.52	0.22	0.36	0.27
8 生涯学習の充実	0.23	0.39	0.72	0.25	0.51	0.41
14 自然環境の保全	0.38	0.36	0.51	0.34	0.41	0.31
6 地域で支えあう福祉の充実	0.24	0.39	0.62	0.41	0.38	0.43
24 観光の振興	0.17	0.26	0.61	0.28	0.24	0.31
22 農業の振興	0.30	0.43	0.43	0.17	0.37	0.42
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.20	0.24	0.59	0.27	0.46	0.34
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.17	0.27	0.51	0.14	0.26	0.24
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.16	0.29	0.47	0.17	0.33	0.35
20 住環境の整備	0.11	0.23	0.73	0.16	0.24	0.32
31 交流の推進と国際化	0.23	0.34	0.72	0.22	0.33	0.33
9 地域文化の振興	0.26	0.30	0.54	0.08	0.39	0.29
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.14	0.27	0.59	0.14	0.39	0.32
23 林業の振興	0.20	0.28	0.35	0.12	0.26	0.22
18 計画的な土地利用の推進	0.05	0.27	0.40	0.23	0.33	0.18
28 協働のまちづくり	0.14	0.25	0.63	0.26	0.38	0.33
30 情報化の推進	0.16	0.22	0.44	-0.05	0.36	0.29
17 生活環境の向上	0.07	0.15	0.36	0.00	0.13	0.18
25 商工業の振興	0.03	0.24	0.61	0.29	0.23	0.20
27 行財政運営の効率化	0.00	0.19	0.52	0.05	0.34	0.32
26 雇用の促進	-0.10	0.04	0.50	0.02	0.12	0.17
32 共感と共生のまちづくり	0.07	0.17	0.48	0.19	0.20	0.25
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.34	-0.21	0.24	-0.37	0.10	0.04

※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値は政策分野別では「保健・医療・福祉」が最も高く、「行財政改革・市民参画」が最も低い

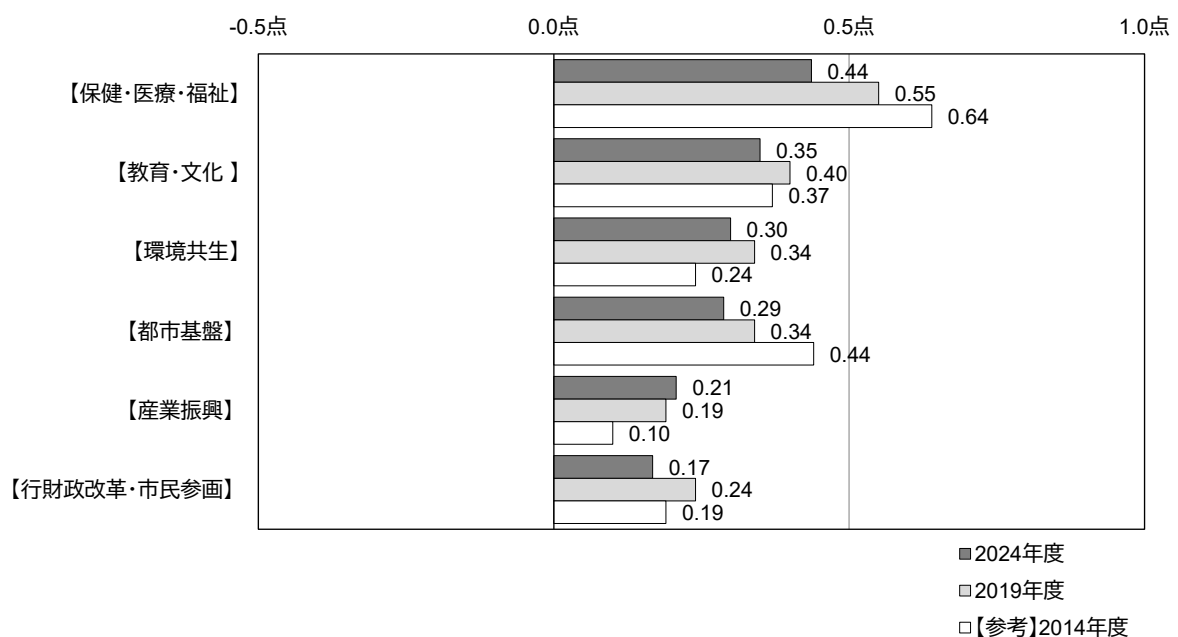
●「産業振興」を除き前回より低下

33 項目の加重平均値について、「第2次総合計画 後期基本計画」における6つの政策分野に分類した平均※¹を見ると、「保健・医療・福祉」(0.44 点)が最も高く、次いで「教育・文化」(0.35 点)となっています。

一方、「行財政改革・市民参画」(0.17 点)が最も低くなっています。

過去2回の調査※²と比較すると、いずれの調査でも「保健・医療・福祉」が最も高くなっています。

また、前回調査と比較すると、「産業振興」(0.21 点)を除き、前回より低くなっています。



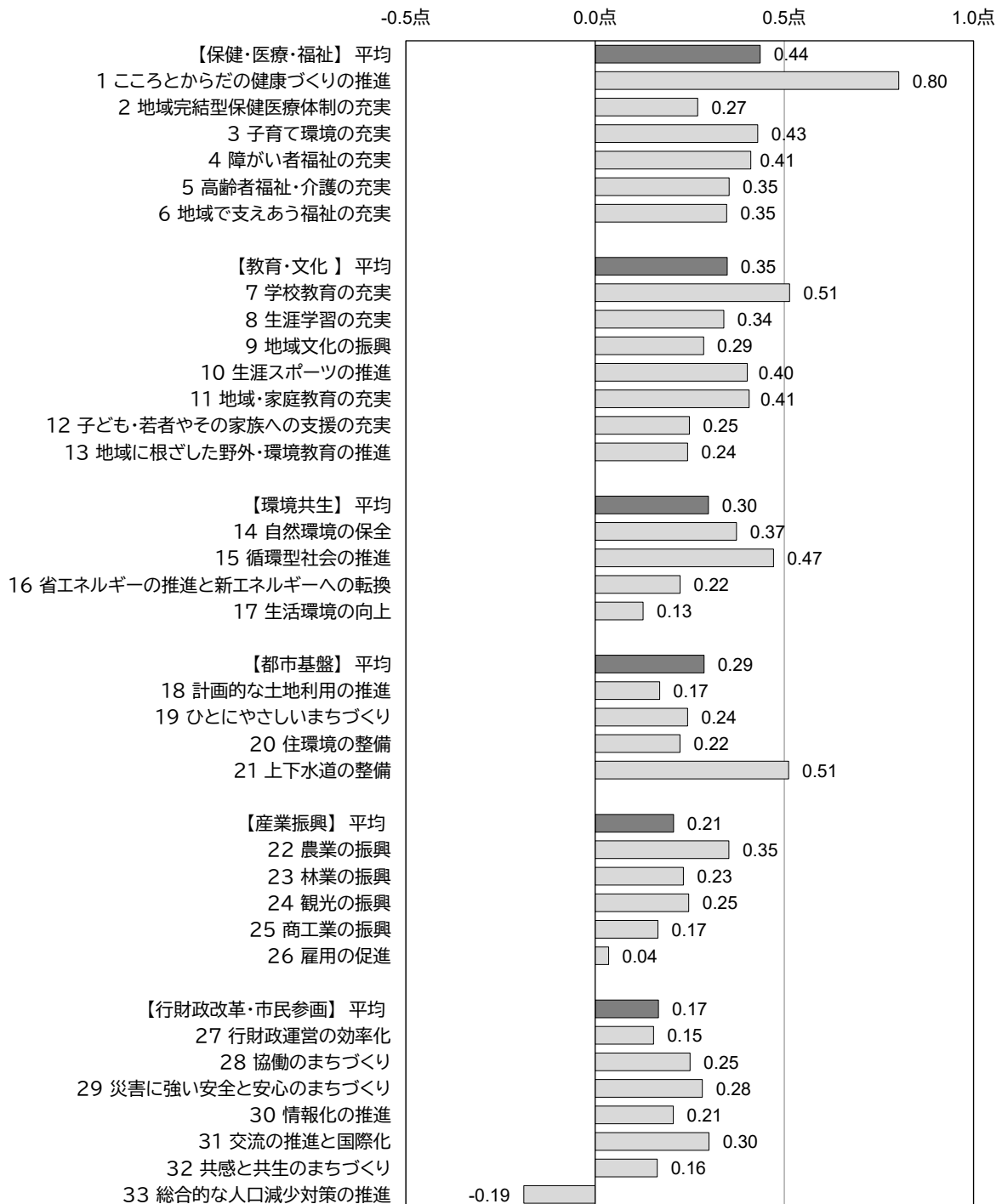
まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別 経年比較 加重平均値）

※1 各項目の加重平均値を政策分野別に足し合わせ、項目数で除した値

※2 2014年度の値は、項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計した参考値

●いずれの政策分野でも、項目による加重平均値の差が比較的大きい

各政策分野に分類される項目それぞれの加重平均値を見ると、政策分野別の平均値が最も高い「保健・医療・福祉」では「1 こころとからだの健康づくりの推進」が特に高くなっています。また、いずれの政策分野でも項目による差が比較的大きくなっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別項目 加重平均値）

※ 【】内は政策分野名。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

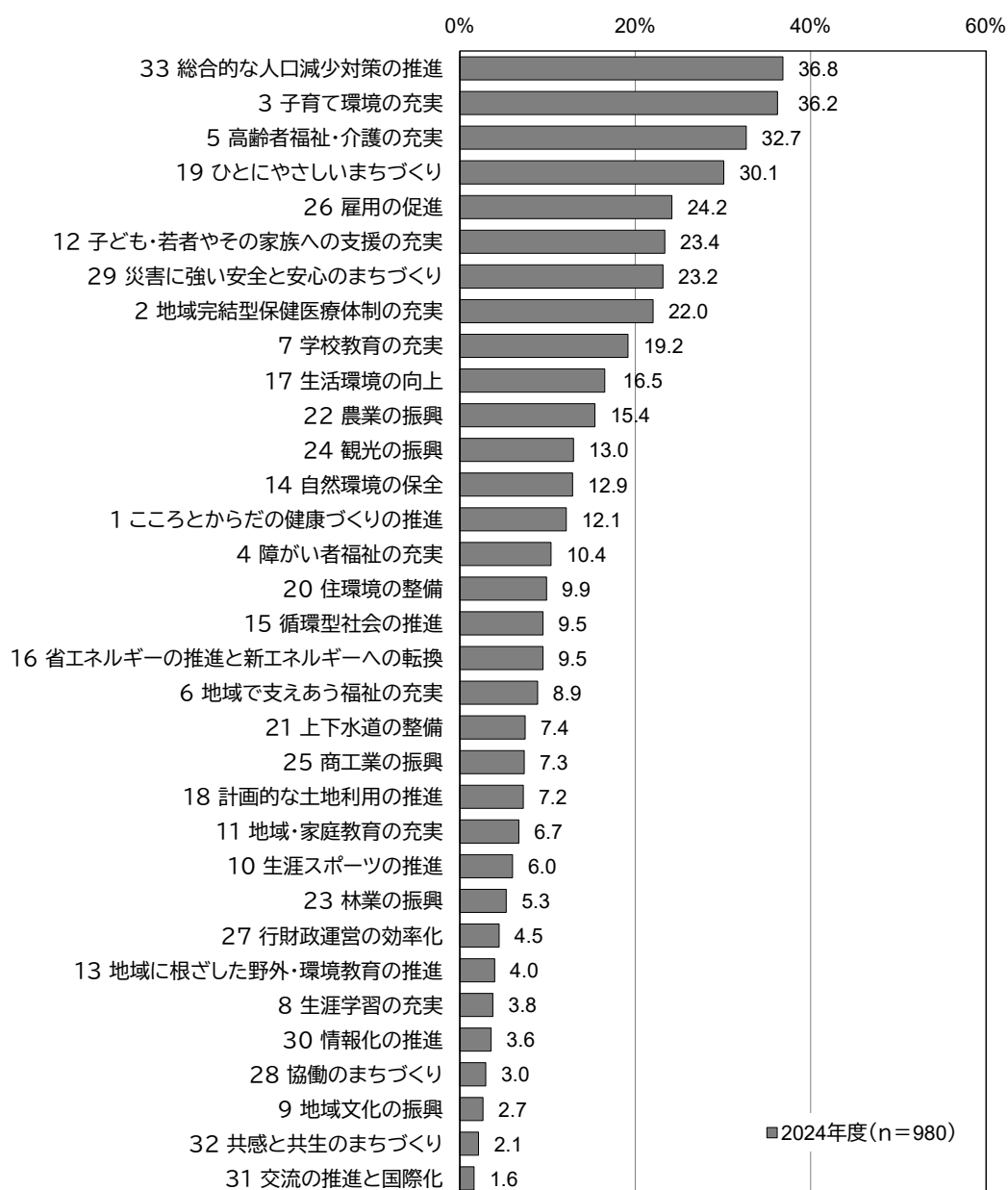
問2 今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。（問1の33項目について・5つまで選択）

●「総合的な人口減少対策の推進」「子育て環境の充実」の2項目が高い

●次いで「高齢者福祉・介護の充実」「ひとにやさしいまちづくり」も3割以上

「33 総合的な人口減少対策の推進」（36.8%）、「3 子育て環境の充実」（36.2%）の2項目が同程度に高く、次いで「5 高齢者福祉・介護の充実」（32.7%）、「19 ひとにやさしいまちづくり」（30.1%）の2項目を合わせた4項目が3割以上となっています。

一方、「31 交流の推進と国際化」（1.6%）が最も低くなっています。

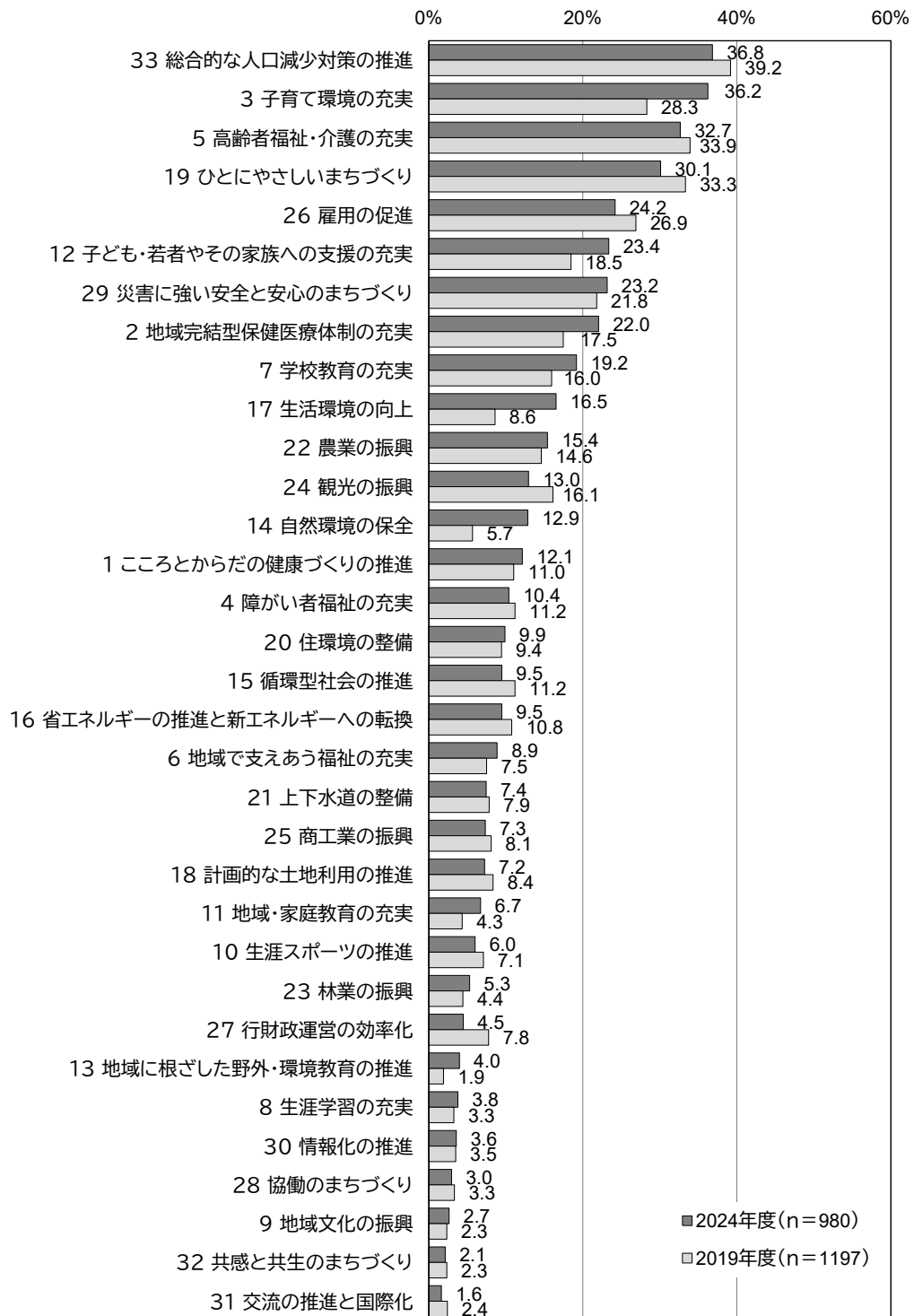


今後力を入れて取り組むべきこと（5つまで選択）

※全体値が高い順に表示

●「取り組むべき」は33項目中17項目が前回から向上、16項目が低下

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「3 子育て環境の充実」（本調査 36.2%、前回 28.3%、7.9 ポイント増）、「17 生活環境の向上」（本調査 16.5%、前回 8.6%、7.9 ポイント増）など 17 項目が前回より高くなる一方、「27 行財政経営の効率化」（本調査 4.5%、前回 7.8%、3.3 ポイント減）など 16 項目が前回より低くなっています。



今後力を入れて取り組むべきこと（経年比較）

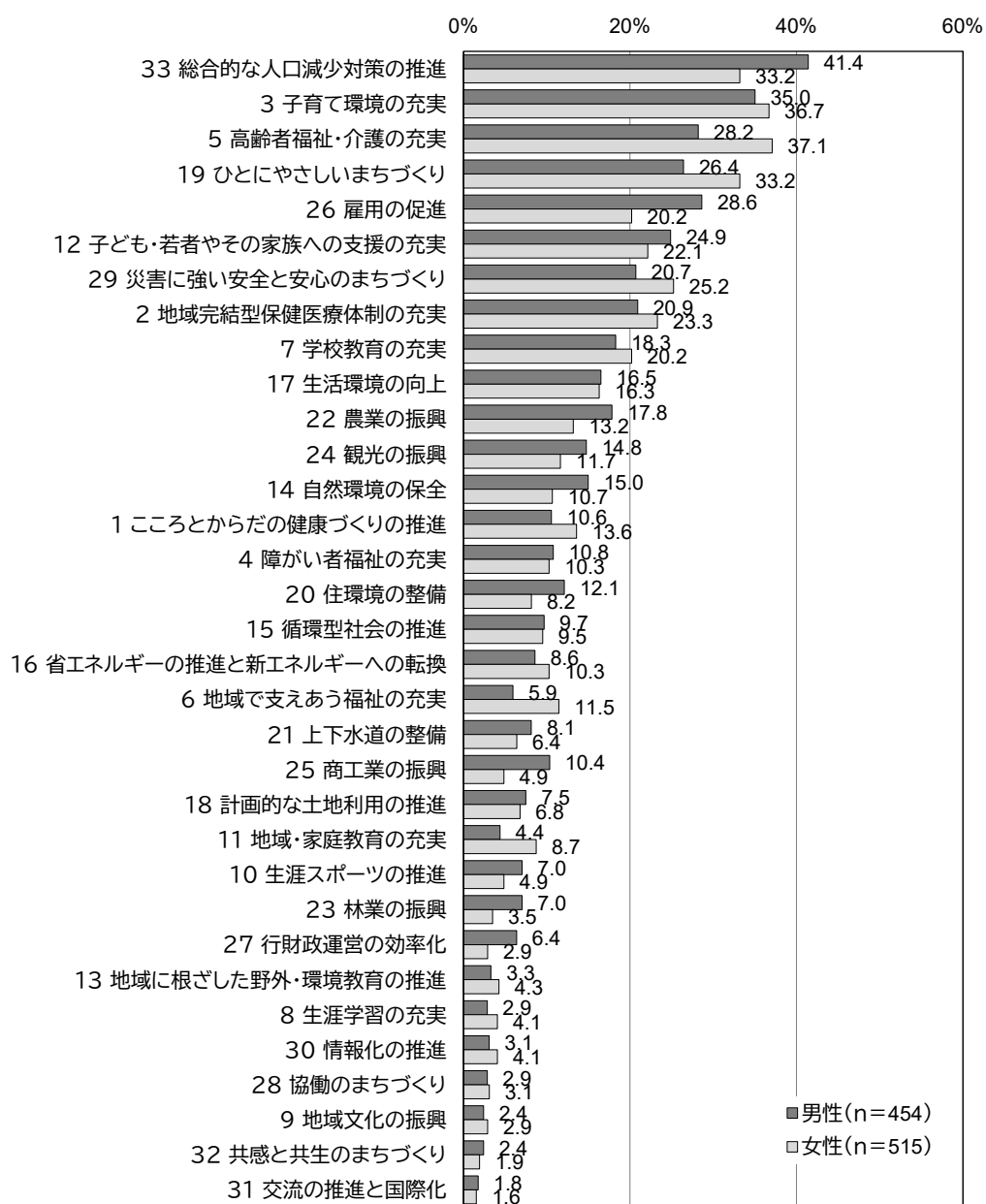
※全体値が高い順に表示

●男性は「総合的な人口減少対策の推進」、女性は「高齢者福祉・介護の充実」が最も高い

性別で見ると、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(41.4%)、女性は「5 高齢者福祉・介護の充実」(37.1%) がそれぞれ約4割で最も高く、次いで男女とも「3 子育て環境の充実」(男性 35.0%、女性 36.7%) が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男女とも「31 交流の推進と国際化」(男性 1.8%、女性 1.6%) となっています。

性別による大きな差は見られませんが、全体で上位の「5 高齢者福祉・介護の充実」(男性 28.2%)、「26 雇用の促進」(男性 28.6%、女性 20.2%)、「33 総合的な人口減少対策の推進」(女性 33.2%) は男女差が比較的大きく、「5 高齢者福祉・介護の充実」は女性、「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」は男性が8ポイント以上高くなっています。



今後力を入れて取り組むべきこと (性別)

※全体値が高い順に表示

●40 歳代以下は「子育て環境の充実」、50 歳代以上は「総合的な人口減少対策の推進」「高齢者福祉・介護の充実」が高い

●「子育て環境の充実」は 30 歳代が 6 割以上で特に高く、年代差が大きい

年代別で見ると、40 歳代以下は「3 子育て環境の充実」、50 歳代は「33 総合的な人口減少対策の推進」「5 高齢者福祉・介護の充実」（34.6%で同値）、60 歳代は「5 高齢者福祉・介護の充実」（44.5%）、70 歳以上は「33 総合的な人口減少対策の推進」（40.2%）、が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は年代によって異なり、その中で 50 歳代は「32 共感と共生のまちづくり」の回答が見られません。

年代差は「3 子育て環境の充実」で大きく、30 歳代（66.1%）が特に高くなっています。また、最も高い 30 歳代と最も低い 70 歳以上（21.3%）では 44.8 ポイントの差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
33 総合的な人口減少対策の推進	26.2	31.5	33.3	34.6	43.6	40.2
3 子育て環境の充実	38.5	66.1	46.6	30.9	29.5	21.3
5 高齢者福祉・介護の充実	27.7	21.8	29.1	34.6	44.5	30.7
19 ひとにやさしいまちづくり	23.1	27.4	27.0	27.2	37.7	30.7
26 雇用の促進	15.4	21.0	25.9	29.4	25.9	22.1
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	24.6	36.3	26.5	20.6	19.5	18.4
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.5	12.9	20.1	22.1	26.4	29.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	9.2	15.3	22.8	27.2	24.1	23.4
7 学校教育の充実	20.0	34.7	26.5	19.1	11.4	12.7
17 生活環境の向上	9.2	12.1	14.8	21.3	19.5	16.8
22 農業の振興	10.8	12.1	13.8	11.8	20.0	17.2
24 観光の振興	16.9	12.9	14.8	16.2	15.9	6.1
14 自然環境の保全	12.3	8.1	12.2	11.0	11.8	18.0
1 こころからだの健康づくりの推進	20.0	11.3	11.6	11.0	9.5	13.9
4 障がい者福祉の充実	18.5	7.3	8.5	12.5	10.9	9.8
20 住環境の整備	12.3	11.3	9.0	12.5	10.5	7.4
15 循環型社会の推進	1.5	4.8	7.9	11.0	12.7	11.5
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	6.2	5.6	11.6	6.6	9.1	12.7
6 地域で支えあう福祉の充実	10.8	4.0	7.9	8.1	11.4	9.8
21 上下水道の整備	4.6	9.7	8.5	8.8	5.9	7.0
25 商工業の振興	7.7	6.5	5.3	11.8	4.1	9.8
18 計画的な土地利用の推進	4.6	10.5	10.1	5.1	7.3	5.3
11 地域・家庭教育の充実	9.2	19.4	7.4	2.2	4.5	3.7
10 生涯スポーツの推進	7.7	9.7	7.9	5.1	4.1	4.1
23 林業の振興	3.1	4.0	4.2	4.4	4.5	8.6
27 行財政運営の効率化	1.5	4.0	4.8	5.9	6.4	2.9
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.6	4.0	5.3	4.4	1.4	4.5
8 生涯学習の充実	3.1	5.6	5.3	2.9	1.8	3.7
30 情報化の推進	4.6	4.8	5.8	2.9	1.8	2.9
28 協働のまちづくり	1.5	2.4	3.7	2.2	2.7	3.7
9 地域文化の振興	3.1	2.4	2.6	1.5	2.3	3.7
32 共感と共生のまちづくり	3.1	0.8	2.6	0.0	2.7	2.9
31 交流の推進と国際化	4.6	2.4	2.1	1.5	0.5	1.2

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●大和・塩沢地域は「総合的な人口減少対策の推進」、六日町地域は「子育て環境の充実」が最も高い

居住地域別で見ると、大和地域、塩沢地域は「33 総合的な人口減少対策の推進」（大和地域 40.6%、塩沢地域 37.9%）、六日町地域は「3 子育て環境の充実」（37.2%）が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、大和地域は「9 地域文化の振興」（1.3%）、六日町地域、塩沢地域は「31 交流の推進と国際化」（六日町地域 1.4%、塩沢地域 1.6%）となっています。

地域による大きな差は見られませんが、その中で「22 農業の振興」は塩沢地域（23.2%）が高く、大和地域（11.4%）、六日町地域（12.1%）と 10 ポイント以上の差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	229	438	311
33 総合的な人口減少対策の推進	40.6	34.2	37.9
3 子育て環境の充実	36.2	37.2	34.4
5 高齢者福祉・介護の充実	31.9	31.3	35.4
19 ひとにやさしいまちづくり	32.3	32.2	25.4
26 雇用の促進	27.5	21.7	25.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	22.7	21.7	26.0
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	22.3	25.3	20.9
2 地域完結型保健医療体制の充実	20.5	23.5	21.2
7 学校教育の充実	18.8	18.5	20.6
17 生活環境の向上	16.6	16.7	16.1
22 農業の振興	11.4	12.1	23.2
24 観光の振興	10.5	13.2	14.5
14 自然環境の保全	13.1	13.0	12.5
1 こころとからだの健康づくりの推進	10.0	14.2	10.9
4 障がい者福祉の充実	12.2	8.7	11.6
20 住環境の整備	8.3	11.2	9.3
15 循環型社会の推進	9.2	10.3	8.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	9.6	8.7	10.6
6 地域で支えあう福祉の充実	10.9	10.3	5.5
21 上下水道の整備	3.5	9.4	7.7
25 商工業の振興	6.6	7.5	7.7
18 計画的な土地利用の推進	3.9	7.8	9.0
11 地域・家庭教育の充実	5.2	7.8	6.4
10 生涯スポーツの推進	4.4	6.4	6.4
23 林業の振興	4.8	4.6	6.8
27 行財政運営の効率化	5.7	3.9	4.5
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.4	3.9	3.5
8 生涯学習の充実	2.2	3.4	5.1
30 情報化の推進	3.1	2.5	5.5
28 協働のまちづくり	1.7	3.0	3.9
9 地域文化の振興	1.3	3.0	3.2
32 共感と共生のまちづくり	2.6	2.1	1.9
31 交流の推進と国際化	2.2	1.4	1.6

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●最も高い項目は職業によって異なる

●農林自営は「農業の振興」が5割以上で特に高く、職業差が大きい

職業別で見ると、最も高い項目は職業によって異なり、その中で農林自営は「22 農業の振興（56.3%）」が5割以上で高くなっています。

最も低い項目も職業によって異なり、その中で農林自営は「10 生涯スポーツの推進」「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」「32 共感と共生のまちづくり」の3項目、商工自営は「28 協働のまちづくり」「32 共感と共生のまちづくり」の2項目、家事専業は「27 行財政運営の効率化」で、回答が見られません。

職業差は「22 農業の振興」で大きく、特に高い農林自営以外はいずれも2割未満にとどまっています。また、最も高い農林自営と最も低い常勤（12.3%）とは44.0ポイントの差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
33 総合的な人口減少対策の推進	34.1	36.6	39.6	40.3	41.5	39.2
3 子育て環境の充実	46.5	36.6	25.0	26.9	25.5	24.1
5 高齢者福祉・介護の充実	31.5	39.8	29.2	22.4	41.5	30.1
19 ひとにやさしいまちづくり	27.4	29.8	25.0	31.3	41.5	32.5
26 雇用の促進	26.4	21.7	31.3	22.4	18.1	25.3
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	26.9	23.0	20.8	17.9	25.5	16.9
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.1	24.8	18.8	25.4	35.1	23.5
2 地域完結型保健医療体制の充実	20.6	24.2	22.9	19.4	31.9	21.7
7 学校教育の充実	23.5	18.6	16.7	25.4	8.5	13.9
17 生活環境の向上	16.9	15.5	20.8	20.9	20.2	13.3
22 農業の振興	12.3	12.4	56.3	16.4	19.1	13.9
24 観光の振興	14.0	10.6	6.3	19.4	13.8	10.8
14 自然環境の保全	9.9	9.9	22.9	17.9	12.8	17.5
1 ところとからだの健康づくりの推進	10.2	12.4	12.5	9.0	13.8	15.7
4 障がい者福祉の充実	8.2	12.4	14.6	3.0	12.8	13.3
20 住環境の整備	11.1	11.2	4.2	10.4	9.6	7.8
15 循環型社会の推進	7.3	13.0	6.3	13.4	7.4	12.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.0	9.9	14.6	7.5	14.9	9.6
6 地域で支えあう福祉の充実	7.0	13.0	10.4	6.0	8.5	10.8
21 上下水道の整備	9.0	7.5	4.2	1.5	2.1	9.6
25 商工業の振興	6.8	3.1	6.3	19.4	5.3	9.6
18 計画的な土地利用の推進	8.7	3.7	4.2	10.4	8.5	7.2
11 地域・家庭教育の充実	8.0	9.3	4.2	1.5	7.4	3.0
10 生涯スポーツの推進	7.7	3.7	0.0	14.9	5.3	1.8
23 林業の振興	4.1	5.0	6.3	10.4	2.1	6.6
27 行財政運営の効率化	4.4	5.6	6.3	9.0	0.0	4.8
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.6	2.5	0.0	1.5	4.3	4.8
8 生涯学習の充実	4.1	3.1	2.1	4.5	1.1	4.2
30 情報化の推進	3.1	5.0	4.2	4.5	2.1	4.2
28 協働のまちづくり	3.1	2.5	4.2	0.0	3.2	4.2
9 地域文化の振興	2.4	1.9	4.2	3.0	1.1	4.2
32 共感と共生のまちづくり	1.9	2.5	0.0	0.0	1.1	2.4
31 交流の推進と国際化	1.9	0.6	2.1	1.5	1.1	1.2

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

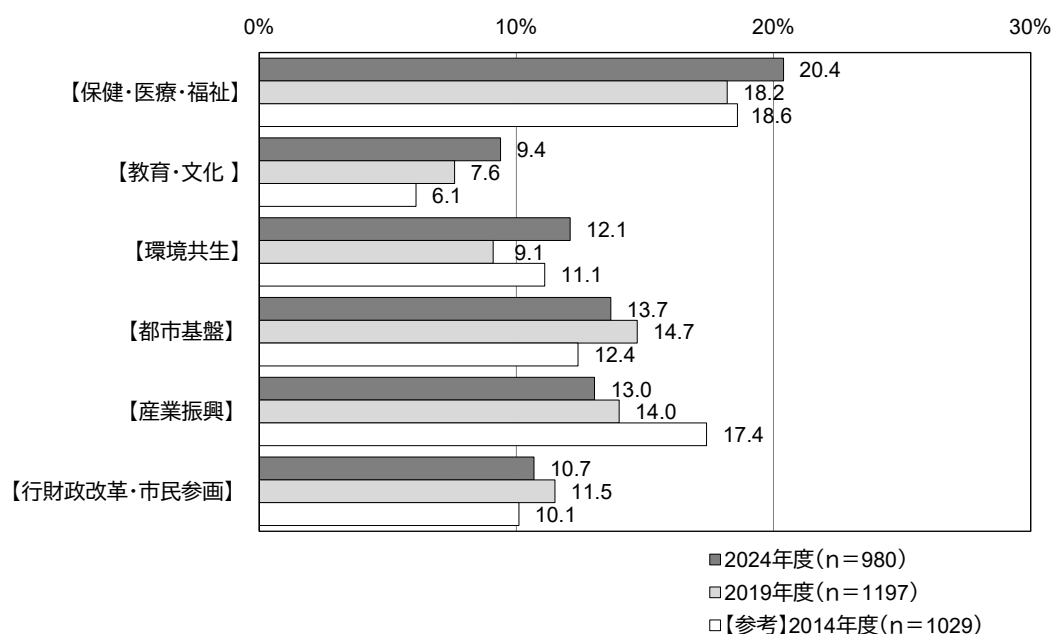
●政策分野別では「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低い

●「保健・医療・福祉」「教育・文化」「環境共生」は前回より高い

33 項目について、「第2次総合計画 後期基本計画」における6つの政策分野に分類した平均^{※1}を見ると、「保健・医療・福祉」(20.4%)が最も高く、次いで「都市基盤」(13.7%)となっています。

過去2回の調査^{※2}と比較すると、いずれの調査でも「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低くなっています。

また、前回調査と比較すると、「保健・医療・福祉」「教育・文化」「環境共生」は高く、それ以外は低くなっています。



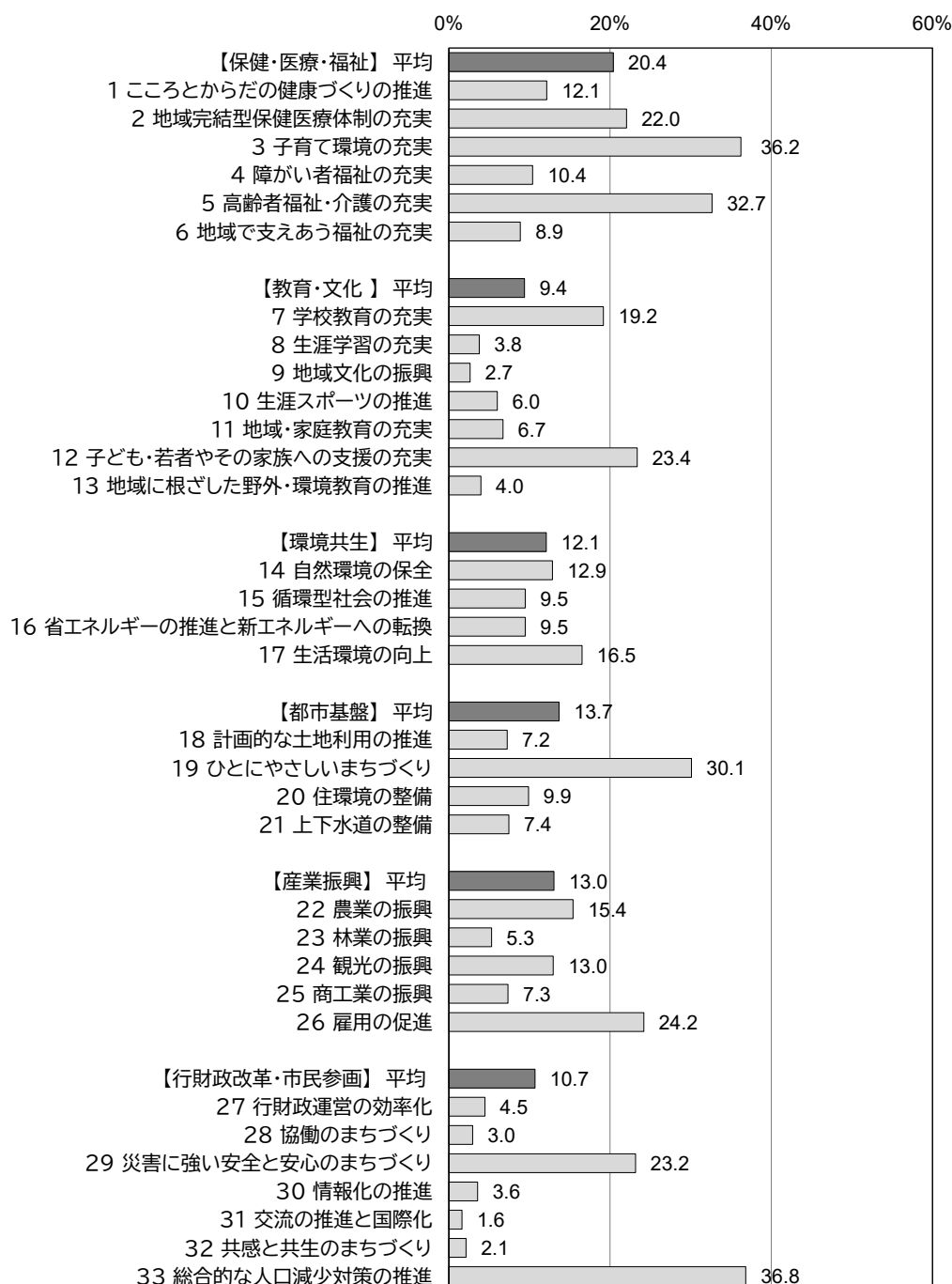
今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別 経年比較）

※1 各項目の値を政策分野別に足し合わせ、項目数で除した値

※2 2014年度の値は、項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計した参考値

●「環境共生」以外の政策分野では、項目による差が比較的大きい

各政策分野に分類される項目それぞれの値を見ると、政策分野別の平均値が最も高い「保健・医療・福祉」では「3 子育て環境の充実」「5 高齢者福祉・介護の充実」が特に高くなっています。また、ほとんどの政策分野で項目による差が比較的大きくなっていますが、政策分野「環境共生」では、特に高い項目は見られず、いずれも2割未満となっています。一方、政策分野「行財政改革・市民参画」では、全体で最も高い「33 総合的な人口減少対策の推進」や、最も低い「31 交流の推進と国際化」、次いで低い「32 共感と共生のまちづくり」など、状況が大きく異なる項目が混在しています。

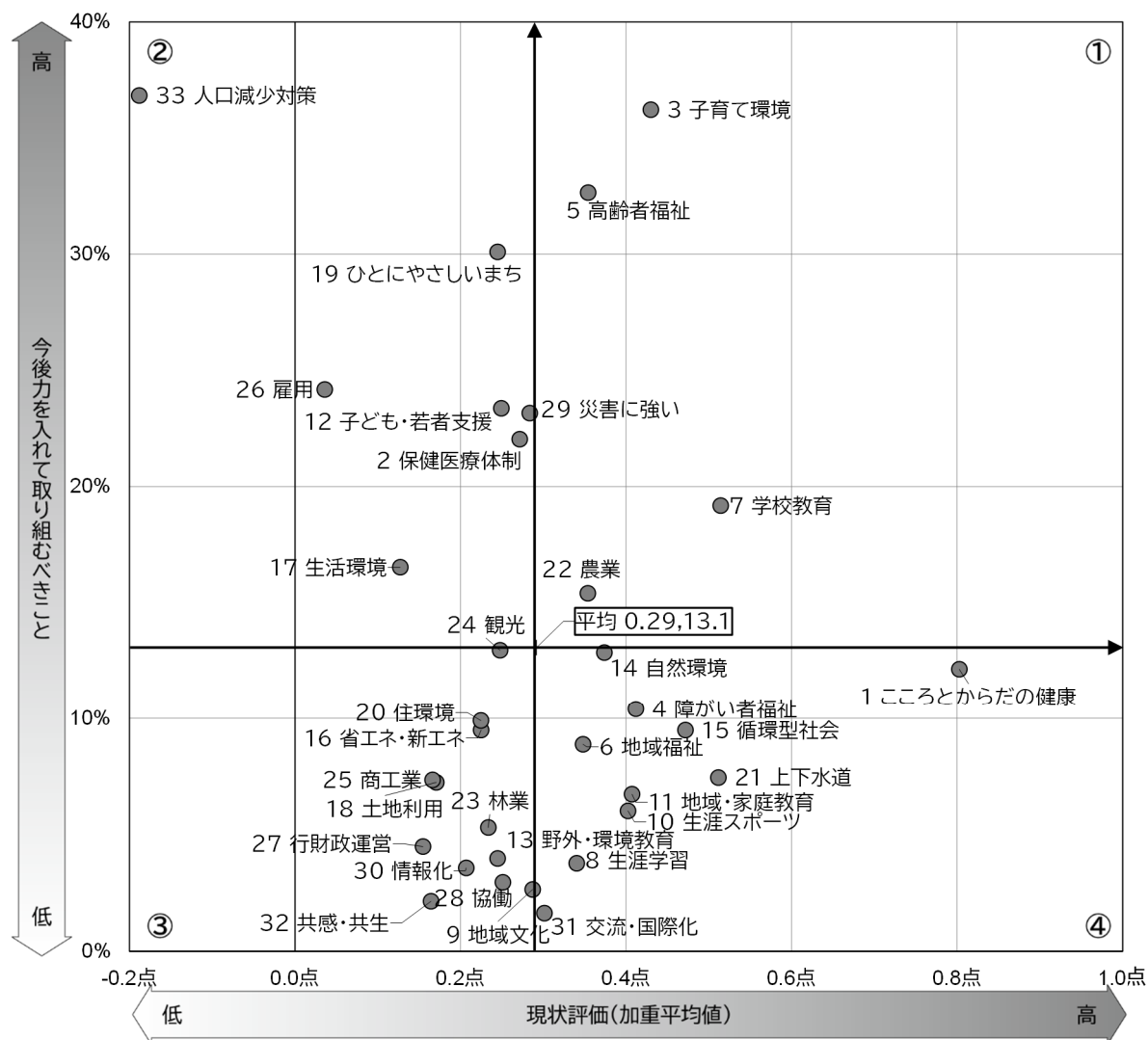


今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別項目）

※ 【】内は政策分野名。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

- 「総合的な人口減少対策」「雇用の促進」は、現状評価が低く、今後の要望が高い
- 「子育て環境の充実」「学校教育の充実」は、現状評価、今後の要望ともに高い

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」をあわせて見ると、33項目はおおむね以下の5つに分類できます。



まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係
(全 33 項目)

※図中の各項目名は表現を省略して表示

①高評価・高要望：現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性も強く認識されており、現在の取組を今後もさらに推進することが求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
3 子育て環境の充実	0.43	36.2
7 学校教育の充実	0.51	19.2

②早急な対応が必要：現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性が強く認識されており、早急な改善・充実が求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
26 雇用の促進	0.04	24.2
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.19	36.8

③低評価・低要望：現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていません。必要性の周知を含めた、中・長期的視点による見直しが求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
27 行財政運営の効率化	0.15	4.5
30 情報化の推進	0.21	3.6
32 共感と共生のまちづくり	0.16	2.1

④現状維持：現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性があまり強く認識されていません。現状の取組を維持しつつ、必要な見直しやさらなる周知を進めることが求められています。

特徴的な項目として顕著なものは見られません。

⑤上記以外の項目：現状評価【中】または今後力を入れて取り組むべきこと【中】

現状の取組が一定の評価を得ている、または今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性がある程度認識されています。

現状評価と今後力を入れて取り組むべきこととの関係から、さらに以下の3つのタイプに分類できます。

⑤-1 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【中】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.80	12.1

⑤-2 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
5 高齢者福祉・介護の充実	0.35	32.7
19 ひとにやさしいまちづくり	0.24	30.1

⑤-3 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
9 地域文化の振興	0.29	2.7
28 協働のまちづくり	0.25	3.0
31 交流の推進と国際化	0.30	1.6

●「子育て環境の充実」「生活環境の向上」「地域完結型保健医療体制の充実」は重要性が増している

●「総合的な人口減少対策」「ひとにやさしいまちづくり」は継続的な取組、「自然環境の保全」はこれまで以上の取組が求められている

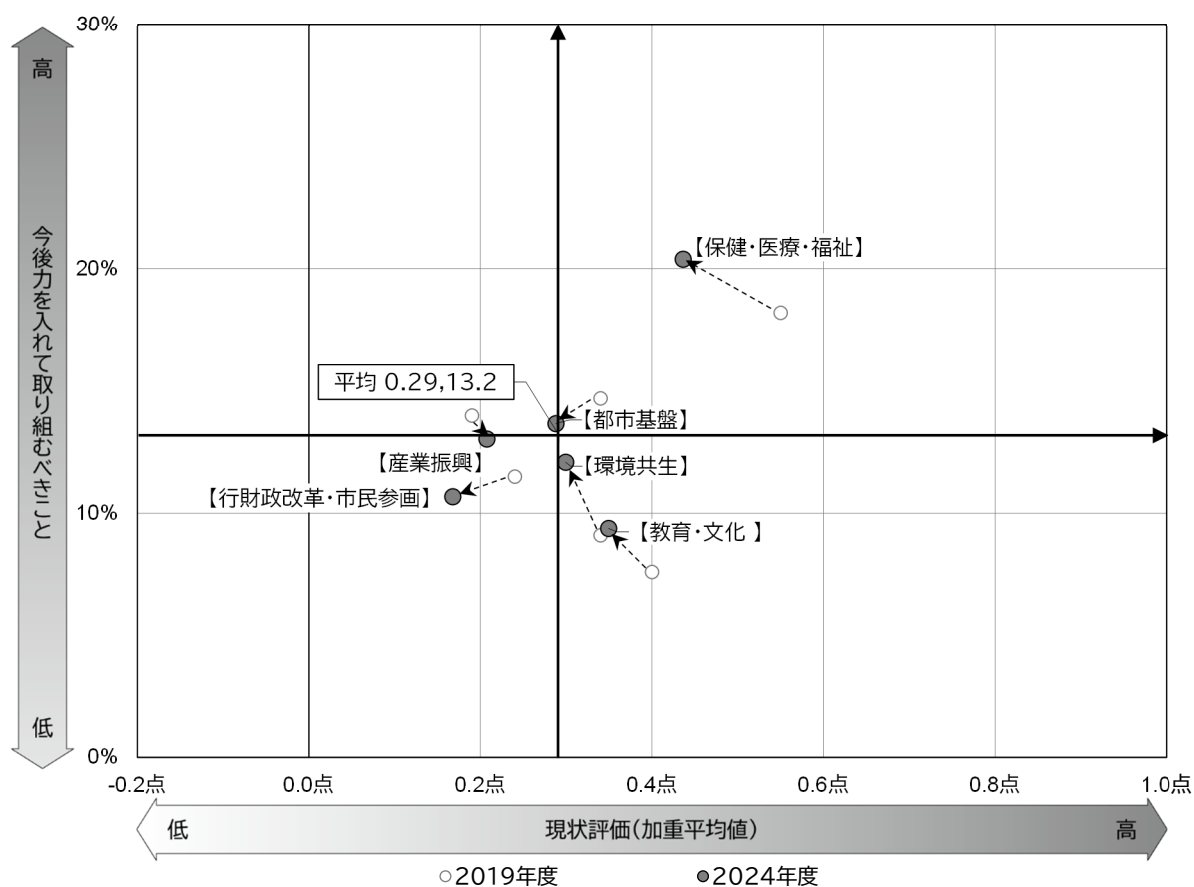
前回調査とあわせて見ると、比較的変動が大きい項目（矢印で推移を表示）が複数見られます。

「2 地域完結型保健医療体制の充実」「3 子育て環境の充実」「17 生活環境の向上」「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」は、現状評価が低下する一方、今後力を入れて取り組むべきことが高くなっており、重要性が増していると考えられます。

「19 ひとにやさしいまちづくり」「33 総合的な人口減少対策の推進」は、現状評価と今後力を入れて取り組むべきことがともに低下していますが、今後力を入れて取り組むべきことは依然として高い状況で推移しており、継続的な取組が必要と考えられます。

「14 自然環境の保全」は、現状評価では若干の上昇にとどまりますが、今後力を入れて取り組むべきことが特に高くなっており、これまで以上の取組が必要と考えられます。

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係について、政策分野別の平均値※を整理し、前回調査と合わせて見てみます。



まちづくりの「現状評価」（加重平均値）と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係
（政策分野別 前回調査との比較を含む）

※「現状評価」は該当する各項目の加重平均値の平均値、「今後力を入れて取り組むべきこと」は該当する各項目の割合の平均値

政策分野ごとのおおむねの状況を以下に整理します。

保健・医療・福祉	・現状の取組の評価は高いが、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状評価は全項目で低下しており、特に「3 子育て環境の充実」「2 地域完結型保健医療体制の充実」「4 障がい者福祉の充実」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは、特に「3 子育て環境の充実」「2 地域完結型保健医療体制の充実」で上昇
教育・文化	・現状の取組が一定の評価を得ているが、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状の取組の評価は全項目で若干低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは上昇する項目が多く、「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」が他項目より上昇する一方、「10 生涯スポーツの推進」のみ低下
環境共生	・現状の取組の評価はあまり高くなく、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状の取組の評価は特に「17 生活環境の向上」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは特に「14 自然環境の保全」「17 生活環境の向上」で上昇する一方、「15 循環型社会の推進」「16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換」は低下
都市基盤	・現状の取組の評価はあまり高くなく、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査より低下 ・現状の取組の評価は特に「19 ひとにやさしいまち」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは低下する項目が多く、「19 ひとにやさしいまちづくり」が他項目より低下する一方、「20 住環境の整備」のみ若干上昇
産業振興	・現状の取組の評価が低く、前回調査と同程度 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査と同程度 ・現状の取組の評価で大きな変動のある項目はない ・今後力を入れて取り組むべきことは「24 観光の振興」「26 雇用の促進」が他項目より低下
行財政改革・市民参画	・現状の取組の評価が低く、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査より低下 ・現状の取組の評価で大きな変動のある項目はない ・今後力を入れて取り組むべきことは低下する項目が多く、「27 行政運営の効率化」「33 総合的な人口減少対策の推進」が他項目より低下する一方、「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」が若干上昇